

○産業建設常任委員会

1. 委員構成(6名)

【～令和元年11月30日】

委員長 幡谷好文 副委員長 木村喜一

委員 野村武勝、笹目雄一、大槻良明、福島ヤヨヒ

【令和元年12月2日～】

委員長 荒川一秀 副委員長 島田清一郎

委員 野村武勝、田村昌男、福島ヤヨヒ、石井 旭

2. 所 管 都市建設部、産業経済部、水道局、農業委員会事務局

3. 審議内容(32件)

付託案件	件数	審議結果	
条 例 案	6件	可決すべきもの 6件	否決すべきもの 0件
補正予算案	16件	可決すべきもの 16件	否決すべきもの 0件
その他議案	10件	可決すべきもの 10件	否決すべきもの 0件
請願・陳情	0件	採択すべきもの 0件	不採択すべきもの 0件

4. 所管部署の主な実施事業

(1) 広域幹線道路整備事業 (R2.3.19令和2年度予算議決)

路線名	事業期間	用地取得率 (R2.5末現在)	事業進捗率 (R2.5末現在)	R2年度当初事業費 (千円)
羽鳥宿張星線(西) (鹿島神社～355バイパス)	～R1年度	100%	100%	0
栗又四ヶ線 (上馬場～栗又四ヶ)	～R5年度	80%	57%	216,000
市道美1627号線 (岩間ICアクセス)	～R2年度	100%	86%	153,000
市道小10916号線 (空港アクセス 竹原～野田)	～R2年度	100%	94%	50,500

(2) 羽鳥駅周辺整備事業(経過と事業計画) (R2.3.19令和2年度予算議決)

年月	経過
平成29年4月	羽鳥駅橋上駅舎及び東西自由通路新設工事契約を議決
平成29年4月	議会の議決によりJRと施行協定書を締結
平成29年5月	羽鳥学区区長会への説明、広報紙等で事業概要の周知
令和元年6月	羽鳥駅橋上駅舎及び東西自由通路 一部供用開始
令和元年6月～	既存駅舎・人道橋、ホーム内跨線橋解体工事 西口階段等工事
令和2年2月16日	羽鳥駅橋上駅舎及び東西自由通路全面供用開始
令和2年度中	羽鳥駅東西広場完成予定

(3) 玉里地区地籍調査事業 (R2.3.19令和2年度予算議決)

地籍調査(再調査)事業の調査計画面積は、総面積で10.89km²、年間の調査面積は、0.29km²~2.96km²です。事業期間は、認証の終了まで10ヶ年の計画で、概算事業費は、約5億7,654万2千円を見込んだ事業計画となっている。

本事業は今年で5年目となり、現在は川中子地区の登記が完了し、公図(地図)の修正作業が行われている。今年度は、事業費8,352万8千円で、下玉里Ⅰ地区(大井戸平山区)の登記事務、下玉里Ⅱ地区(岡区)の閲覧から認証請求、高崎Ⅰ地区(主に下高崎区)の一筆地調査から一筆地測量、高崎Ⅱ地区(上高崎区)の地元説明会を実施する。

また、今年度、農政課内の地籍調査室から地籍調査課となり、現行体制で事業を実施するため、事業計画の調査期間及び区域の見直しを予定している。

玉里地区の地籍調査については、昭和41年頃からの早い時期に実施したため、プラスチック杭等の永久標識を設置する義務も無く、平板測量という方法で行われた。そのため、現在では建物の建築確認申請、土地の売買、道路の拡幅等の土地活用の際に、現地に境界標識がほとんど無く、非常に不便をきたしている。

この事業については、合併前からの懸案事項であり、議会でもたびたび議論され要望をしてきた経緯がある。今回の事業の成果により、境界確認のための負担が大幅に軽減されるとともに、市役所が保管・管理している測量データを活用することにより、境界標識の復元が出来るようになる。